



大限夢

平成27年7月7(火) vol.14

今日は「七夕」の日です。中国から伝来し、奈良時代に広まった「牽牛星」と「織女星」の伝説がもととなり、今では五節句の一つにも数えられています。毎年7月7日の夜に、願いごとを書いた色とりどりの短冊や飾りを笹の葉につるし、星にお祈りをする習慣が今も残ります。みなさんも子供のころ、たくさんの短冊をつるして「織り姫」と「彦星」にお願いごとをしたのではないのでしょうか？



第三印象はどうですか？

以前人の第一印象は6秒で決まるという話をしました。(vol.11 参照) 今日、その続編ということで第二印象と第三印象について紹介したいと思います。そんな言葉があったんや？と思った人も多いと思いますが、心理学の世界ではけっこう有名な造語だそうです。

まず、第二印象というのは、ある程度時間がたった後の印象のことです。1、2週間～1か月くらいたった時の印象です。「この人、第一印象はとてもさわやかだったのに、付き合えばわがままだった」みたいな感じですよ。けっこう、ありがちですね。

ところが、世の中にはさらに第三印象というのがあるそうです。その人が1年、2年と何を積み上げて来たかによって、周りの人が語るその人の持ち味やよさというところでしょうか。実はこの第三印象を磨くことが最も重要なのです。「見た目はこわ～い先生と思っていたけど、実はとても優しくかった」みたいな感じですよ。1学期も残すところあと10日となりました。4月に出会った頃からみなさんの印象は、どのように変わりましたか？キラッと輝く姿に変化していることを願っています・・・。

「ハチドリ」のひとしずくのように

南米エクアドルに古くから伝わる「ハチドリ」のお話をご存じでしょうか？ハチドリは鳥類の中で最も体が小さく「ブンブン」とハチと同様の羽音を立てるため、ハチドリと名付けられたそうです。右の詩を読んで考えてみてください。

燃える森はいったい何を象徴しているのでしょうか？温暖化や酸性雨などの地球環境問題をはじめ、紛争、飢餓、貧困といった解決できない人類の課題であるようにも思えます。

どの問題も「早くなんとかしないといけない」と、誰もが感じていることばかり。でも、あまりにも大きく「いったい自分に何ができるというの？」と無力感もこみ上げてきます。小さなハチドリが「私にできることをしているだけ」と、黙々とひとしずくを運ぶ姿は、そんな無力感を感じる心に、「何ができるかわからないけど、まずは私にできることをしよう」という勇気を与えてくれているのではないのでしょうか？

「ハチドリ」のひとしずく
 森が燃えていました
 森の生きものたちはわれ先にと逃げていきました
 でもクリキンディという名の
 ハチドリだけは いったりきたり
 口ばしで水のしずくを一滴ずつ運んでは
 火の上に落としていきます
 動物たちがそれを見て
 「そんなことをして いったい何になるんだ」
 といって笑います
 クリキンディはこう答えました
 「私は、私にできることをしているだけ」



総体まで
11日

★キラキラ輝く中学生★

「キラキラ輝く中学生」のコーナーを昇降口東側の掲示板に設置しました。みなさんはもう目にしましたか？いろいろな心温まるエピソードが紹介されており、目立たないところで活躍する姿をうれしく誇りに思います。こうした思いやりや優しさの輪が全校に広がっていくことを楽しみにしています。

掲示板には、たくさんの「ひまわり」の花を貼っています。ひまわりの花言葉は、ひまわりが太陽の方向を追うように動く性質にちなんで、「私はあなただけを見つめる」という意味が込められているそうです。もし、ひまわりをプレゼントされたときには、そういう意味があることを知っておくといいですね。笑

